

津屋崎地区の魅力保全に対する方針は

【答弁】 魅力を保全しながら、その魅力を発信し活用していきたい

ミモザの会
豆田 優子 議員

文化財として指定されたところを含め、持ち主との対話や住民ニーズなどを捉えた上で、保全と活用をしていきたい。海岸部分については、観光あるいは企業誘致で盛り上げていきたいと考えている。



▲海風にはためく幟と町並み

人生のステージごとの支援の進め方は

【答弁】 足りない部分を検証し、効率・効果的な市政運営を進める

公明党
中村 晶代 議員

「高齢者の健康寿命の延伸への取り組み」など、できる手段について一つ一つ考えた上で、市役所全体でよく検証し、効果的・効果的な市政運営を進めていきたい。



▲ライフステージごとに必要な支援を

市政を問う 一般質問

議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。

今回は
9人でした



高山 賢二 議長

骨格予算でも各事業の説明はすべきでは

【答弁】 説明不足と受け取られている事に対して申し訳なく思う



山本 祐平 議員

例年、説明資料として提出しており、骨格予算でも資料として出すことは可能と考えている。骨格予算と肉付け予算の混在する事業もあるため、どのような出し方にするかは今後、検討していきたい。



▲問われる執行部の予算審査への姿勢

教育施設整備の優先順位を決めないのか

【答弁】 過大規模校対策や体育館の空調整備等、方針を決めて実施



中村 恵輔 議員

今後改修を検討中。過大規模校対策を優先課題としつつも、学校施設の長寿命化や他の事業とのバランスを見ながら、優先順位を決める。体育館の空調整備は必要性を認識しており、優先度は高い。国の補助金を活用する方向で調査を進め、断熱性能の確保も検討したい。



▲夏の体育館は危険な暑さ

総括質疑



今回は
6会派でした

市長の所信表明に対して、各会派の代表が総括して質疑をしました。

疑義を

質す!

ただ

新設小学校建設の進捗状況は

【答弁】 令和9年2月の完成に向けて工事を進めている



▲開校に向けて工事をすすめている新設校用地



開校準備委員会のメンバーは、新設小学校に通学する児童の保護者や、新設小学校に関わる自治会の代表者、学校の教職員や有識者での構成を考えている。

宮司地区の新設小学校は、通学路等の整備も含め、令和9年4月開校が遅れることはないか。また、新設小学校の学校名や校歌等は、開校準備委員会の中で考えていくとのことだが、委員会のメンバー構成は、令和9年2月の完成に向けて工事を進めている。通学路に関しては、安全設備等の整備をこれから進めていくこととしている。現在、令和9年4月開校を目指して取り組んでいる。

福津誠和会
秦 浩 議員

オンデマンド交通の導入時期と地域は

【答弁】 令和8年～12年度間で勝浦、本木、舍利蔵が検討対象



▲オンデマンド交通は予約制の「乗合タクシー」



オンデマンド交通の検討を今後進めていく上で想定している地域は、勝浦、本木、舍利蔵などのエリアを考えている。

公共交通については、定時定路線を基本とし、同路線が行き届かない地域に対しては効率的な機能を有したオンデマンド交通を進めようとしている。令和何年度を目標に導入するのか。また、運行を想定している地域はどこか。

新正会
尾島 武弘 議員

市長の「稼げるまち」とは誰が稼ぐのか

【答弁】 市民、企業、市のそれぞれが「稼げるまち」をめざす



▲福井市長がめざすまちづくりとは？



企業誘致等で①市民に働く場の提供②企業は従業員の確保による事業拡大③市は市民税の増など、三者が「稼げるまち」をつくる。目標数値、指標の設定は、今後設置の庁内プロジェクトチームで検討する。地方自治法第2条の意味するところである市民の満足度向上を図っていきたい。

「稼げるまち」をめざすとしているが、誰が「稼げるまち」をつくるというのか。また、「稼げるまち」の目標数値や指標の設定(市民の所得等)はしないのか。さらに地方公共団体は地方自治法で「住民の福祉の増進を図る」ことを目的と定めている。「稼げるまち」を法的にどう位置付けているのか。

日本共産党
戸田 進一 議員

個人・法人市民税を5%減税する根拠は

【答弁】 名古屋市で成果を上げている成功事例を参考にした



▲今の財政状況で本当に5%の減税できるの？



有識者から制度面等のレクチャーを受け財政状況や地方債などの状況も加味しながら庁内プロジェクトチームを立ち上げ進めていきたい。

財政への影響や制度的な課題、他自治体の事例など調査研究していくために経営企画部を中心に6月定例会が終了した後、取り組みを始めている。

成功事例の名古屋市は自動車産業などの税収基盤があり減税ができたという背景がある。また減税を継続できるのかという課題もあるが、庁内プロジェクトチームでなくても検討できるのでは。

みんなの声によるみんなの会
榎本 博 議員

農業経営基盤強化促進法の地域計画とは

【答弁】 目指すべき将来の農地利用の姿を明確化したもの



倉元 敏徳 議員

宗像市・古賀市をはじめ旧津屋崎町・旧福岡町の地域も地域外であり、そのかたからの土地利用が考えられる。



▲中山間地域の農地の今後は

スクールカウンセラー等の増員常勤化は

【答弁】 今後、導入に向けての協議を行っていきたい



佐伯 美保 議員

本市の不登校率は全国平均を上回り、いじめも増加傾向。スクールソーシャルワーカー3名、スクールカウンセラーは5名配置で、ともに十分に活躍いただいているが、対応する児童生徒や保護者の増加を考慮すると増員および常勤化などは十分に感じている。



▲相談の様子

他にもこんな質問がありました

議員名	その他の質問
山本 祐平	人員体制の強化と業務効率化について
中村 恵輔	福津市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を基軸とした福津型ゼロカーボン戦略の展開について
大山 隆之	観光スポットの整備と地域連携について

議員名	その他の質問
中村 清隆	高齢者の運転免許証自主返納について 市内体育館の空調設備について
井手口忠信	「救急安心カード」の活用について
岩下 豊	新設小学校建設予定地周辺地域の安全対策について 敬老祝金の廃止について
倉元 敏徳	企業誘致について 学童保育所について
佐伯 美保	子どもの権利保障に向けた子ども条例の制定について 地域と共にある学校づくりにおける新設校の防災対策について 松林保全に向けた薬剤散布等について

ふんちゃんを探せ！
ふんちゃんクイズヒントは、
ページをめくって
私を探してね。

- ①生徒会長と何を語った？
- ②今の議員の人数は？
- ③肉付け予算はいくら？



コラム

「所信表明」ってなあに？

「所信表明」とは、新しく市長になった人が、市民や議会に向けて「これからどんな福津市をめざすのか」、「どんなことに力を入れていきたいのか」を自分の言葉で伝える大切な機会です。まちの未来に対する思いや、市民の皆さんの暮らしをどう良くしていくかといった考えをわかりやすく示すことで、市民との信頼づくりの第一歩になります。議会では、この表明を受けて具体的な議論が始まります。所信表明は、市長の「まちづくりへの決意表明」と言えるものです。



▲広報ふくつ令和7年7月号

法定待機児童と特定園希望等の児童数は

【答弁】 法定待機は30人、特定園希望等の待機は135人である



▲保育士確保でサービス拡充を



市内すべての認可保育所等が保育士を充分確保できれば、定員1816人の児童の受け入れが可能。しかし、常に保育士が不足している園の影響で、162人分の枠が活用できない状況であるのは、行政サービスの低下と考える。保育士不足が常態化している園に対して取るべき措置は。

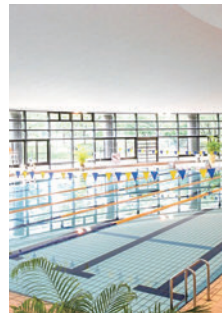
【答弁】 保育士不足の要因は離職の多さにある。市の技術的支援で現場の負担感を軽減し、離職防止につなげたい。また、各認可保育所等の設立に伴い、定員受け入れ前程で市から施設整備補助を行っているので、定員まで受け入れることを要請しなければならない。引き続き指導を行っていき



大山 隆之 議員

プール施設の広域利用と誘致への考えは

【答弁】 他市のプールの利用推進と誘致条件等の調査研究を行う



▲老若男女関係なく多くの市民が望むプール



本市においても、健康増進室の利用助成や条件を満たしたかたへの産直商品券の配付など、市独自の応援事業を実施している。今後も継続して取り組み、応援事業を浸透させていきたい。企業誘致に向けては、庁内プロジェクトチームを設置し、調査研究を行い、本市の条件等を議論する必要がある。プールの誘致についても、条件等を調査研究していく。

【答弁】 本市においては、健康増進室の利用助成や条件を満たしたかたへの産直商品券の配付など、市独自の応援事業を実施している。今後も継続して取り組み、応援事業を浸透させていきたい。企業誘致に向けては、庁内プロジェクトチームを設置し、調査研究を行い、本市の条件等を議論する必要がある。プールの誘致についても、条件等を調査研究していく。



中村 清隆 議員

市は、孤独死、孤立死をどう防ぐのか

【答弁】 見守り支援の継続と、人と人がつながる機会を設ける



▲ヒト、モノ、コトを繋ぐキッカケラボ



近年、孤独死や孤立死が社会問題となっているが、市の対策は。ヒト、モノ、コトを繋ぐ、未来共創センターキッカケラボの役割は。3月末で終了した「ふくつこころと生き方の相談は復活しないのか。」

【答弁】 孤独や孤立の防止策として、地域支えあい制度や、地域や市民活動団体と連携した見守り活動を実施している。自治会の加入促進、郷づくり活動への関心を高める取り組みもすすめている。キッカケラボが行うバスケットボールは、新たなまちづくりの担い手を顕在化し、地域と繋いでいる。既存の他の相談体制を維持しながら、ニーズに応じた相談窓口をこれからも調査研究していく。



石田 まなみ 議員

熱中症対策にボトル式給水機の設置を

【答弁】 有益であり、調査研究をしながら取り組んでいきたい



▲ボトル式給水機が設置されている他自治体



近年夏季の気温上昇が著しく、児童・生徒の健康被害が問題となっている。熱中症対策には、こまめな冷水補給が有効とされている。学校生活において、適切な水分補給のために給水環境の整備が必要である。感染症対策の他、脱プラスチック、災害時の避難所運営の観点からも、学校施設にボトル給水式冷水機を設置してはどうか。

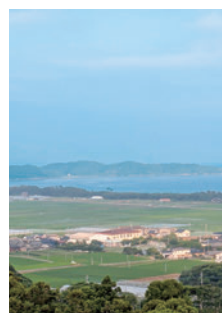
【答弁】 適切な水分補給は、集中力の維持、熱中症予防、体調管理に直結するため、給水機の設置がその一助となると期待できる。一方で、衛生面・運用面・費用面で解決しなければならぬ課題もあるため、導入については、調査研究をしていきたいと考える。



井手口 忠信 議員

乗合タクシーの実態調査を含めた対応は

【答弁】 市で今できる最大限のサービスを提供していく



▲地域公共交通の後退が懸念される勝浦地区



西鉄バスの乗車ゲートや事業者との協議で、8人乗りなら対応可能となった。9人目以降の対応は困難。公共交通空白地タクシー助成制度があるので、勝浦地区に限らず公共交通の充実を図るために対象と条件を拡大しては。

【答弁】 地域公共交通の充実を図ることは住民の命と暮らしを守る地方自治体の責務。10月から西鉄バスの勝浦・津屋崎間が廃線となり、朝夕の時間帯のみ8人乗り車西で乗合タクシーの運行を始める。9人目以降の対策は考えている。またミニバスと同様、日・祝日・年末年始は運休になる。公共交通空白地タクシー助成制度があるので、勝浦地区に限らず公共交通の充実を図るために対象と条件を拡大しては。



岩下 豊 議員